

新春対談2022

深谷出身の武士 畠山重忠を語る

〈深谷市長〉

〈俳優・『鎌倉殿の13人』畠山重忠役〉

小島進 × 中川大志



深谷市の川本地区出身で平安～鎌倉時代に活躍した武士『畠山重忠公』（以下、重忠）が、今年の大河ドラマ『鎌倉殿の13人』に登場します。そこで、重忠を演じる俳優の中川大志さんと小島市長が、重忠ゆかりの地で熱く語り合いました。

対談は、重忠が再興して菩提寺としたと伝えられ重忠の位牌が残る、『満福寺』（畠山）の本堂で行われました。

重忠は知れば知るほど『すごい人物』

『すごい人物』

小島市長 今日は、深谷へお越しいただきありがとうございます。

中川大志さん（以下、中川さん）今日は、畠山重忠公史跡公園など、川本地区を回らせていただいたのですが、気持ちの良いところですね。

小島市長 ありがとうございます。畠山重忠公史跡公園は、春は桜が満開で、地元のかたが重忠節踊りや重忠太鼓を披露する『重忠まつり』も開催されています。

中川さん 今日、重忠が大河ドラマに登場し、演じるのが中川大志さんだと聞いて、深谷市民は大喜びです。今日は、畠山重忠公史跡公園など、川本地区を回らせていただいたのですが、気持ちの良いところですね。



中川大志（俳優）

1998年生まれ（23歳）、東京都出身。2009年に俳優デビュー以来、多くのドラマ、映画、CMに出演。2022年の大河ドラマ『鎌倉殿の13人』で、深谷出身の武士 畠山重忠を演じる。

つり」があるんです。この2年は、残念ながらコロナ禍で中止になってしまったのですが、今年は開催できると思いますよ。

深谷いろいろして、新たな発見や

気分が良かったですか？

中川さん そうですね。台本や資料に目を通す中で、『すごいところまで行ってきた。』とか、『ちょっとでも、スタジオだけだと距離感がなかなか分からないですね。』とか、ゆかりの地を実際に回らせていただいたイメージが湧きました。すごく貴重な時間です。

小島市長 大河ドラマに出演が決めたときは、どう感じました？



▲重忠公の位牌を見学する中川さん

小島市長 ええ。たいていは、馬を背負ったエピソードとかで終わってしまうので。

重忠は、幕府を作った人物ではないけれど、幕府に忠誠心を尽くし、情に厚くて、慕って付いてくる武士もたくさんいた。なかで、部下が止めても最後まで信念を貫いて戦った。そういう重忠の『生きざま』が魅力的なので、その『生きざま』をやってくれるというものが素晴らしいと思うんです。

重忠を演じる上で大切にしたいのは『武士道』

小島市長 中川さんは、重忠を演じてみてどうですか？

中川さん 今回、重忠を演じる上

中川さん 『畠山重忠役です。』と役名を聞いたときに、名前を聞いたことはあったのですが、あとから詳しく知っていくうちに、『こんなにすごい人物なんだ』って。『主君に忠誠を誓う』『忠義の心』のお手本のような人物だったということ、この時代に出てくる人の中でもちょっと異才を放つ存在です。

小島市長 そうなんです。『鎌倉』っていうのは、重忠のためにあるような言葉だと思えます。

中川さん ドラマの中でも、重忠はちょっと特別な距離感があるんです。ドラマなどでこんなに重忠が描かれたことは、あまりないの

ではないでしょうか。

重忠だけじゃない！幕府を支えた坂東武者たち

小島市長 今、坂東武者の話が出ましたが、私はいつも話すのですが、重忠のほかにも、深谷の榛沢六郎成清、本田次郎近常、岡部六弥太忠澄や、近隣の熊谷次郎直実など、この辺りの武士が源平合戦



武蔵武士の鑑 畠山重忠

畠山重忠は、1164年（長寛2年）に現在の深谷市畠山に生まれ、平安～鎌倉時代に活躍した武士です。源頼朝に仕え、そのさわやかな気概と数多くの戦功は特に目立ち、武蔵武士の鑑とまでたたえられました。一の谷の戦いの『鶴越の逆落とし』では、愛馬『三日月』を背負って崖を降りたという逸話があり、畠山重忠公史跡公園（畠山）の銅像はその雄姿を表したものです。頼朝亡きあと、実権を握った北条時政に謀反の疑いをかけられ、横浜の二俣川にて討死し42年の生涯を終えました。

かな気概と数多くの戦功は特に目立ち、武蔵武士の鑑とまでたたえられました。一の谷の戦いの『鶴越の逆落とし』では、愛馬『三日月』を背負って崖を降りたという逸話があり、畠山重忠公史跡公園（畠山）の銅像はその雄姿を表したものです。頼朝亡きあと、実権を握った北条時政に謀反の疑いをかけられ、横浜の二俣川にて討死し42年の生涯を終えました。



重忠の魅力的な『生きざま』を演じてもらえるのは素晴らしいことです (小島市長)

重忠は自信と強さを持っていて『言葉より行動で示そう』という人物だと思います (中川さん)

の最前線で戦っているんですよ。つまり、この辺の武士は一生懸命、鎌倉幕府や源頼朝(以下、頼朝)を盛り立てたわけですよ。なおかつ、頼朝亡きあと、重忠は鎌倉に向かった末に殺されてしまふ。

だから、鎌倉幕府ばかりではなくて、『もう少し坂東武者に目を当たらせてくれ』と思っんです。中川さん 坂東武者がいなかったら、鎌倉幕府はそこまで成功していません。

小島市長 そうなんです。だからそこを、中川さんにうまく演じてもらえればと思っんです。中川さん そうですね。ドラマでは、鎌倉幕府が出来上がって来るまでの、頼朝と、重忠も含めた坂東武者たちとの関係性が面白いと思います。

撮影裏話『庄巻の先陣シーン』

小島市長 もう撮影が始まったと聞いていますが、撮影現場の雰囲気はどですか。中川さん そうですね。すごく順調に、楽しく撮影しています。小島市長 何か話していただけるエピソードありますか？

中川さん 重忠が、頼朝勢と最初は敵対していたところから、合流する場面があるんですけど、そのあと、先陣を任されるんですよ。『若くて見栄えもいから、畠山、お前が先頭をやれ』みたいなシーンがあった。

小島市長 あーそうですか。中川さん 僕が馬に乗って先頭を行って、後ろに頼朝たちがついて来るんですけど、カメラから外れた時に後ろを振り向いたら、立派な武士たちが後ろにずらーっとくるわけですよ。それを見たとき、ちょっと震えましたね。それだけでもワクワクします。

小島市長 うわぁ。そのシーンは庄巻ですね。それは、第1話ですか？中川さん いえ、もうちょっと先なんですけど。小島市長 もちろん全部観ますので、しっかりチェックしなくちゃですね。

ところで、馬に乗ったりとか、何か稽古はされているのですか？中川さん 重忠は、馬や剣術に秀でていたところなので、いろいろ来てもいいように準備はしています。大河ドラマって、台本が

なるまで、戦いシーンや馬に乗るシーンがどれくらいあるか分からないので、その準備は一年くらい前からしています。

重忠を教育や観光のきっかけに

中川さん 今日、ゆかりの地を回る中で、川本南小学校にも立ち寄ってきました。

小島市長 そうなんです。川本地区の小学校は、特に重忠を誇りに思っているのが、中川さんが演じる重忠の生きざまを見て、子どもたちがきっと感動すると思っんです。

中川さん そうなんです。今日一口ゆかりの地を回ってきて、なんだか、重忠を演じることへの緊張感がさらに高まってきました。

実は今、重忠の像を自宅のテレビの横にも飾っているんです。

小島市長 目に入るところに重忠を置いているんですね。

今、深谷でも、重忠米・重忠みそ・重忠にんじくは作られています。

すし、今後は重忠のグッズも増えていくと思います。今度、重忠のキャラクターもできるの、それを包装紙に使ったりして、グッズとかを売っていただけら良いと思っんです。

今年はこの川本地区からも近い花園インターチェンジのところに、深谷テラスやアウトレットモールも開業するので、来訪した皆さんにも商品を手にとっていただき、重忠のことを知ってほしいですね。

深谷市民の皆さんへメッセージ

小島市長 改めてになりますが、市民もドラマを楽しみにしています。特にこの川本地区の方々には重忠を顕彰する活動をすつとやって、このころと期待していると思っます。そこで、市民の皆さんへメッセージをいただけますか。

中川さん そうですね。まずは、皆さんの期待に応えられるように頑張ります。こいやって今日足を運ばせていただき、地元のかたとお話をさせている想いや、大切にしているところは間違えていかなかったんだ



▲満福寺の正面で、市特産のネギとユリを使った『ねぎ花束』とふっかちゃんのぬいぐるみを手にする中川さんと、小島市長